

Numazu Fresh News

発信日:2015/ 1/13

発信者:沼津河川国道事務所

柿田川保全の取り組みを紹介 シンポジウム「ジオパークでつながる人と地域」にて

1月10日(土)に沼津市のプラザヴェルデで開催されたシンポジウム「ジオパークでつながる人と地域」において、ポスターセッションに参加し、ジオサイト柿田川の保全の取り組みを紹介しました。



来場者からの質問など対応しました ポスター協力:調査第一課



ポスターセッション会場



静岡大学
小山教授による
基調講演



シンポジウム主催:環境省関東地方環境事務所、伊豆半島ジオパーク推進協議会

ジオパークとは

「地球活動の遺産を主な見所とする自然の中の公園」

活動面から言うと「大地(ジオ)が育んだ貴重な資産を多数備えた地域が、それらの保全と活用によって経済・文化活動を高め、結果として地域振興につなげていく仕組み」

(「指針書」から抜粋)

- 1.地質・地形に限らずそれに由来する地域の文化・歴史・産業・動植物などを広く「大地の恵み」として、
- 2.価値あるものと認め、
- 3.それを子どもたちや訪問者に分かりやすく「物語る」
(教育・観光)「場所」という意味

伊豆半島ジオパークはH24.9に「日本ジオパーク」に認定されました。また、H26.9に世界ジオパークの推薦が決定、H26.12.1に世界ジオパークネットワークに加盟申請書を提出しました。

当事務所も推進協議会のメンバー(顧問)として関わっています。



本城山(ほんじょうやま)
本城山は柿田川と狩野川の合流点の南側に位置する。標高76mの山頂には展望台が設置され、伊豆と本州の衝突に伴う大地形や三島-柿田川の湧水群を作り出した扇状地の景観を一望できる。



(ジオパークのエリア拡大申請資料より)

記事の詳細については(河)副所長(TEL:055-934-2001)にお問い合わせ下さい。